

平成25年（2013）2月21日～26日

平成24年度（2012）

第5回出雲市議会（定例会）  
一般質問通告一覧表



## 平成24年度（2012）第5回出雲市議会（定例会）一般質問通告

質問者	15	遠藤力一	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者のショートステイについて	ALS（筋萎縮性側索硬化症）患者の状況、ショートステイの利用実態、そしてその家族の状況を伺う。	健康福祉部長	
			2. 若者の安定について	① 雇用の状況を伺う ② 中間的就労を受け入れる企業の開拓は ③ 奨学金制度の利用状況と改善 ④ 子育て世代へのセイフティーネット住宅の供給は ⑤ 出雲の若者に希望を抱かせる施策はあるか	市長	
			3. 学校図書館司書の配置について	① 向陽中学、出雲三中の図書館配置の考え方を伺う ② 図書教育・情報活用教育を推進する上で、子ども読書推進系の所属についての考え方 ③ 読書ヘルパーのスキルアップについて ④ 学校司書配置ができないのは誰の責任か	市長	

質問者	1	大場利信	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
			1. 県道斐川上島線の全線開通について	① 県道斐川上島線の早期の全線開通は「産業都市拠点ゾーン」を目指す斐川地域にとっても、出雲市南部の地域にとっても、メリットが大きいものである。そこで以下について伺う。 ア 現在の整備状況と今後の整備スケジュールはどのようになっているのか。 イ 県道斐川上島線は雲南地域と斐川地域の工業地帯を結ぶ動脈。昨年8月には4つの誘致企業が直接に知事に要望活動を行っている。出雲市としても更に積極的に県に対し働きかけを行うべきと考えるが、その決意はどうか。	市長	

2. 出雲いりすの丘公園の再生プロジェクト・チームについて	<p>① 昨年の秋にプロジェクトチームが立ち上げられたが、現段階の検討状況と今後の検討スケジュールについて伺う。</p> <p>② 再生検討プロジェクトチームには職員だけでなく、付近の住民や団体、専門家をメンバーとして幅広く検討すべきと考えるが、これについて伺う。</p> <p>③ いりすの丘公園の再生の一案として、湯の川温泉の温泉熱という資源を活用したハウスによる花の栽培や食品加工も検討に値すると思うが、如何か。</p>	市長	
3. 斐川地域農業の推進体制について	<p>出雲市の農業推進体制は、大きく、主として土地利用型農業を推進する斐川地域と主として畜産・果樹等の生産を推進する斐川地域以外の地域に分けられている。斐川地域では、農業委員会の単独設置のほか農林事務局体制、農業公社、振興区長制度など、他の地域にはない独自の推進体制をとっており、農業情勢が大きく変わろうとしている中で、斐川地域においてはこの体制の継続を求める意見が大きい。</p> <p>整備された農業基盤や高い農地の集積率という地域特性から考えると、合併後も地域の実情に応じた体制（1市2制度）は継続されるべきと考えるが、市長の見解を伺う。</p>	市長	

質問者	27 勝部 順子
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 通学路の安全対策について	<p>① 通学路における緊急合同点検の取組状況について、都道府県ごとの資料が公表されました。昨年末（H24年1月31日）の段階で、対策箇所などを記した図面を公表した自治体が782市町村となっています。出雲市も公表されています。</p> <p>国の24年度補正予算、25年度当初予算案に「防災・安全交付金」が新たに計上され、通学路の安全対策にも支援できることになりました。予算を活用し、積極的に通学路の安全対策に取り組まれることを強く求めます。</p> <p>ア 通学路における緊急合同点検の取組状況とその詳細。</p> <p>イ 今後の計画について。</p>	市長	
2. 子育て環境の充実	<p>① 国は2013年度予算案で、保育所に入所できない待機児童の解消策の推進など、保育の充実に4611億円を計上しました。</p> <p>ア 「保育ママ制度」の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の働き方や地域の実情に応じた多様な保育を提供するために「保育ママ」を増やすとしています。国の動きに併せて、制度を導入する考えはないのでしょうか。</li> </ul> <p>イ 「放課後児童クラブ」の充実</p>	市長	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共働きやひとり親家庭の小学生を、放課後や長期の休みに預かる放課後児童クラブ（学童保育）の現状。</li> <li>・発達障がいなどのある児童生徒の受け入れの状況。</li> <li>・ニーズに応えられているでしょうか。</li> <li>・指導員の待遇について。</li> </ul>		
--	--	--	--

質問者	28	米山 広志
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 旧宍道邸の活用	① 3月議会に債務負担行為を提出されなかった理由。 ② 今後のスケジュール。	市長	
2. 原子力安全協定の締結	① 中国電力と何回協議をされたか。その内容。 ② 中国電力からの回答を受け「今後全国の原発周辺自治体と一緒に意見を反映させる仕組みを国に求めていく考えを示した」との報道は事実か。周辺自治体への働きかけは。	市長	

質問者	21	曾田 盛雄
-----	----	-------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 「出雲未来図」について問う。	① 2005年12月に出雲市が作成した21世紀出雲のグランドデザイン2015で出来なかった課題と反省すべき点は何か伺います。 ② 昨年末に示された「出雲未来図」において、本市の主要な課題として、安心して暮らせる安全のまちづくり以下、・・・12項目と出雲市の将来像実現への基本方策として掲げてある。 安全・安心都市の創造 産業・観光都市の創造 環境・文化都市の創造 交流拠点都市の創造 健康・福祉都市の創造 人材育成都市の創造	市長	

	<p>と、いずれも創造という文言が6つも使われているが、創造とは元来金がかかるものと考え るが、出雲市は財政健全化も進めなければならない。行財政改革の推進との整合性はどのよ うに考え進めるのか伺います。</p> <p>③ 12の課題と6つの基本方策いずれも大事と思うが、今後最も大事なのは経済の活性化と 雇用の場を確保して、若者の定住促進を進め所得の向上を図らねばと考える。産業・観光都 市の創造の具体策について市長の所見を伺います。</p>		
2. 老朽化した橋梁対策は	<p>① 出雲市全体の国・県・市のそれぞれの所管橋梁の数は</p> <p>② 50年以上経過して老朽化した、耐震の限度以下の橋梁は何カ所あるのか伺います。</p> <p>③ 安全点検を行えば必ず数字は増えると思うが、その対策はどのように進める考えなのか。</p> <p>④ その中でも橋脚、基礎が著しく弱いと見受けられるヒューム管程度の橋脚、たとえば平田 湖遊館近くにある外島大橋等の対策は、緊急を要すると考えるがどのように進めるのか伺い ます。</p> <p>⑤ 政権交代した自民党、現政府はインフラの老朽化対策や、防災・減災を推進する国土強韌 化への積極的な財政措置も検討実施すると聞くが、出雲市の計画、対応とご所見を伺います。</p>	市 長	

質 問 者	25	坂 根 守		
質 問 事 項	質 問 内 容		答 弁 を 求 め る 者	記 事
1. 多伎いちじくの再生プロジェクトを	<p>① 島根県のブランド産品に指定されている多伎いちじくは生産額一億円産業でしたが近年は 生産額が落ちて、昨年は七千八百万円でした、具体的に対策が必要と思う。再生プロジェク トを立ち上げる考えはあるのか伺う。</p> <p>ア いちじく生産者の高齢化で後継者がいなく、いちじく畑が荒れる場合がある。行政や JAが仲介し後継者を探すことはできないか。</p> <p>イ いちじく畑の面積は16ヘクタールで近年変わらないが生産額を上げるには面積を増や す必要があると思う。耕作放棄地やそうなりそうな土地を同じく行政やJAが仲介し後継 者を探すことはできないか。</p> <p>ウ アグリビジネススクールでいちじくの栽培技術を学んだ卒業生にいちじく生産者になる ように積極的に働きかけてもらいたいが生産者の考えは。</p> <p>エ 行政・JA・いちじく生産組合が協力していちじく再生プロジェクトを立ち上げ生産額 の増加を図るべきと考えるが市長の考えは。</p> <p>オ 農業普及指導員のような専門官を配置できないか。</p>		市 長	

2. プロフェッショナルな市役所職員の育成を	<p>① 職員は一般的に3年前後で職場の異動がある。職員は全く経験をした事のない職場・職種を短時間でマスターして日常業務をこなしている、素晴らしい事と思う。職種によっては専門職として長期間同じ職場で仕事をした方が良いと思うが市長の考えは。</p> <p>ア 少子化対策の中で、結婚対策について12月議会の一般質問の答弁で、黒目副市長は担当部署を決め、しっかりとこの問題に対処したいと言われた。部署だけでなく担当職員を長期にわたり結婚問題に取り組ませる必要があると思うが市長の考えは。</p> <p>イ 今年の5月には出雲大社の遷宮がある。全国からの観光客が沢山あると予想されるが観光交流推進課の取り組みはどうなっているのか。観光も幅が広い、観光客の誘致から観光土産物の開発やブランド化もある、現実には神話祭りや全国そば祭りやらのイベントに追われ職員は観光事業への取り組みや対策ができないのではないかと思われる、専門的に観光事業に取り組む職員を育てるべきと思うが市長の考えは。</p> <p>ウ 税金・国保料・給食費・保育料などの滞納額が沢山ある、収納課の職員の努力の成果で改善されている事は評価できると思う、私が思うに収納のプロを養成し目標を設定し収納の効果を飛躍的に向上させるべきと思う。市長の考えは。</p>	市長	
------------------------	--	----	--

質問者	26 板倉明弘
-----	---------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 島根大学医学部附属病院の寄附講座の継続について	<p>① 寄附した「腫瘍臨床研究部門」の研究内容と5年間の成果を伺う。</p> <p>② がん予防や早期発見の推進などがん対策にどのような影響を与えたのか伺う。</p> <p>③ 今後、さらに寄附を5年間継続する上での課題を伺う。</p> <p>④ 市が実施する健診事業へどのようにこの研究成果を取り入れていくのか。方針を伺う。</p>	市長	
2. 旧来原住宅の土地・建物の今後の取り扱いについて	<p>① 旧来原住宅は、平成18年10月に廃止されている。平成19年2月に普通財産として管財室に引き継がれ、現在に至っている。当初方針とその後の経緯をうかがう。</p> <p>② 廃屋化している建物は、景観的にも、防犯上においても、不適切である。建物は撤去すべきと考えるが見解をうかがう。</p> <p>③ 旧来原住宅の今後の取り扱い方針をうかがう。</p>	市長	
3. 公園や街路樹の樹木管理について	<p>① 公園や街路の樹木を支える添え木の点検と管理状況をうかがう。</p> <p>② 長年、撤去されずに樹木に影響を与えたり、朽ち果てた添え木の取り扱いについてうかがう。</p>	市長	

質問者	8	板垣成二		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
神戸川の河川環境再生について	<p>私の12月議会での一般質問</p> <p>① 神戸川の現状についての認識</p> <p>② 中国電力の水利使用に対する対応、並びに、神戸川の河川環境を再生するための今後の対応について、市長は、答弁の中で、多方面な様々な課題があるとの認識を示し、「神戸川の河川環境に関する専門員会の検討結果・結論を待ち、議会はもちろん、流域の多くの皆さま等のご意見を十分聴取した上で、最終的な結論を出します。」との見解を表明された。</p> <p>そして、その専門委員会の検討結果・結論が、1月30日に、「神戸川の河川環境について」と題する報告により明らかにされたところである。</p> <p>そこで、専門委員会の報告はどのような内容であり、その報告を受け、市長は、中国電力の水利使用並びに、神戸川の河川環境を再生するためにどのような対応をされるのか、見解を伺うものです。</p>		市長	

質問者	4	保科孝充		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
1. 「斐川中央工業団地西工区」の整備状況を伺う	<p>① 埋蔵文化財の調査状況を伺う</p> <p>② 企業からの問い合わせの実態と都市部へのPR活動を伺う</p> <p>③ 工業団地整備に伴う地元要望の実施状況と今後の計画を問う</p>		市長	
2. 「出雲いりすの丘」再生計画の検討状況を伺う。	<p>① 「出雲いりすの丘公園再生プロジェクト委員会」の開催状況について伺う</p> <p>② 市役所内部職員による委員の協議も必要だが外部委員を招聘して専門的な意見を聞いて再生する必要があると思うがいかがか。</p>		市長	
3. 高齢者世帯の安心安全施策を伺う	<p>今後高齢者世帯が益々増加していく中で、各地区のコミセンあるいは社会福祉協議会と協力して次の施策を実施する必要がある。社会福祉協議会への寄付金等を利用して1～2箇所モデル的に実施し高齢者の安心安全に貢献されたい。</p> <p>ア 買い物の支援</p> <p>イ ごみ捨ての支援</p>		市長	



質問者	2 井原 優	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 原発問題について	<p>① 原子力規制委員会の「安全基準」は、新たな設計基準に合致する原発なら、シビアアクシデントや地震・津波の対策を講じることで安全が確保できる立場です。が、「新安全基準」の骨子案には問題が山積している。再稼働容認の骨子案でないか所見を伺う。</p> <p>② 核燃料サイクル計画は破綻しており、使用済み燃料（核のゴミ）を安全に処理する技術は存在しない。島根原発を再稼働すれば、核のゴミはあと5年で満杯となる。これ以上、危険な核のゴミを増やし続け、将来の世代への負の遺産を残さない責任を負っていることを真摯に受け止めるべきであり、原子力発電から省エネルギーと原発に依存しないエネルギー政策への転換を図ることが急務となっている。本市での再生可能エネルギー（自然エネルギー）の取り組みを具体的に伺う。</p> <p>③ 広域避難計画で、住民の避難先は提示された。が詳細な行き先は未定のまま。また、福祉施設の入所者の要援護者の方々にも、関西、九州への避難も必要となっていますが、行き先も決まっていません。一般住民の避難についても、避難は民間まかせになっている。「現実には自家用車での避難ラッシュとなり、周辺にはすれちがいでできない道路も多く渋滞や事故が相次ぎ、実際の事故では逃げ切れるだろうか」不安の声が聞かれる、など多くの課題がある。被害を最小限に食い止めるてだては、島根原発1、2号機の再稼働や3号機の運転開始を中止し、原発ゼロへ向けて廃炉に踏み込むことこそが最善の防災措置ではないか所見を伺う。</p>	市長			
2. 斐川地域の生活バスについて	<p>① 斐川地域での“生活バスを走らせて欲しい”の声は切実です。斐川地域交通運行協議会が、発足され今後路線バス等の運行に向けて協議されますが、高齢者の通院、買い物、高校生の通学など、交通手段確保が困難な方の声を聞き、斐川地域での運行を切望します。</p> <p>② 現在斐川地域では、“まめながタクシー”が運行されているが、予約や、年齢制限などがあり、使用者は不便を強いられている。改善（移行）して、運行も考えられるが、伺う。</p>	市長			
3. 学校再編計画について	<p>① 出雲市学校再編計画等の教育委員会の方針では、（2012年9月28日策定）小学校を現在の41校から29校へ、中学校を15校から14校へ、幼稚園を30園から27園へとすることを打ち出しています。特に旧平田地域では、小中学校16校を8校へと半減させる計画ですが、大規模な統廃合を打ち出された主な理由を、伺います。</p> <p>② 学校再編計画方針（統廃合）を対象地域へ、懇談（説明会）されたか。地域から出された声は。</p> <p>③ 学校は、運動会や、お祭り、文化祭などふくめ「地域の核」としての役割を担っています。また、そこに学校があるから、地域に残って子育てができるという点で、地域を維持するた</p>	市長			

	めに欠かせない施設です。「学校規模の適正化」や財政難を理由に安易に統廃合を進めることには、理解できません。方針は撤回をもとめますが、如何ですか。		
4. 斐川中央工業団地の造成は中止し、市民のくらしと福祉の充実を	<p>「出雲市内の工業団地に未使用の土地が残っている一方で、32億円をかけた造成計画の着手について」ア、雇用が期待される。現計画のまま進めるべき、イ、税金のムダづかい。現計画を見直すか、中止するべき、ウ、よくわからない エ、回答なし、の設問をして、斐川地城でアンケートを行った。92通の回答が寄せられ、結果は、ア、現計画進めるべき、の回答26%、イ、見直し、中止すべき、40%、ウ、わからない、の回答33% エ、回答なし1%であった。</p> <p>また、市民のくらしも、国民健康保険料、介護保険料など負担増で、くらしも年々苦しくなっていることも伺えた。</p> <p>いまこそ、工業団地の造成を中止し、市民のくらしと福祉の充実の市政へと転換をすべきと考えるが、いかがか。</p>	市長	

質問者	37	杉谷寿之
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
大社湾海岸の環境整備について	<p>① 大社湾の環境が近年、大きく変貌してきている。海岸浸食の増大、飛砂被害の問題、磯焼けをはじめ漁場の消滅など市民に大きな影響を与えている。行政として、どのように把握し、対応されているかを問う。</p> <p>② 大社湾の海岸部の景観は観光大国出雲の重要な役割をになっていることは、論をまたない。その沿岸一帯の清掃美化と植栽保全是、如何に行われているのか具体的に。</p>	市長	

質問者	13	大国陽介
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 市長の政治姿勢について (働く人の所得を増やし、経済危機の打開を)	① 経済危機、デフレ不況の最大の原因は、働く人の所得が落ち込んでいることにある。これを直視し、働く人の所得を増やす政策に転換するのか、それとも、破綻が証明済みの策を繰り返すのか、今、このことが問われている。経済危機打開に向け、働く人の所得を増やす政策こそ重要と考えるが、市長の所見を伺う。	市長	

	<p>② デフレ不況から抜け出すためには、第一に、それに逆行する消費税の増税と社会保障の大改悪計画を中止すること。第二に、賃上げと安定した雇用を実現すること。第三に、人間らしい暮らしを保障するルールづくりに踏み出すことが特に重要だと考える。市長の所見を伺う。</p> <p>③ 農林水産業をはじめとする第一次産業や地場産業、既存の中小企業が元気になってこそ、出雲市に活力が生まれてくると考える。地域経済の回復に向けた市長の決意を伺う。</p>		
2. 介護保険の負担軽減とサービスの充実を	<p>① 特別養護老人ホームの増設を求める声は依然として大きく、市民の現状は切実なものがある。抜本的な定員増を求めるが、いかがか。(あわせて待機者数も示されたい)</p> <p>② 生活援助の時間が60分から45分に短縮され、「買い物したら他に何もできなくなる」「コミュニケーションができなく、大事なことが見落とされてしまう」などの声があがっており現場では深刻な影響も出ている。実態調査とともに必要な改善を求めるが、いかがか。</p> <p>③ 障害者自立支援法の対象から介護保険の対象へと移行する際、急激に負担が増加するという実態がある。負担が増えないよう対策を講じることができないものか。</p> <p>④ 高騰の続く保険料は市民の生活を直接圧迫させている。保険料の引き下げ、減免制度の充実等負担軽減策を求めるが、いかがか。</p>	市 長	
3. 外園海岸の浸食対策と防風林保全について	<p>① 外園海岸の砂浜浸食は、ご承知の通り深刻な状況になりつつあり、原因の究明とともに海岸保全のための対策が切実に求められている。「昔はいっぱい魚が捕れた」「戦前は運動会ができるほど広い砂浜だった」など、地元の方はこの砂浜に愛着を抱き、親しみをもって現状を心配している。県や関係機関とも連携し、外園海岸の保全を行政課題として位置づけ、住民とともに知恵を出し合い、保全が図られるよう求めるが、いかがか。</p> <p>② 海岸砂丘には松林が発達し、防風林としての機能が果たされていたが、急速なマツ枯れの進行のもとで砂の飛散や強風、景観など、住民の間で不安が広がっている。海からの風は極めて強く、防風林として機能が失われてはいけな。防風林の再生に向けた特別の対策を求めるが、いかがか。</p>	市 長	
4. 神戸川の河川環境と来島ダムについて	<p>この間の議論の中から疑問に感じていることをいくつか質したい。</p> <p>① 志津見ダムで試験湛水が行なわれたことと、いわゆる「黒い水」との関連性はあるのか。</p> <p>② 来島ダムの運用を取り決めた1954年(昭和29年)の「覚書」ではダムからの放水量について「毎秒二立方メートル以上を放流し得る放流口を設け、放流せしめる」とされているが、その後の申請の許可にあたっての「確認書」では「来島ダムからの放流は2.0m<sup>3</sup>/Sを限度として行なうものとする」とされており、くい違いが生じているが、これはなぜか。</p> <p>③ 慣行水利権の原則から言えば農業用水の確保が最優先されるべきものであると考える。渇水期において、来島ダムからの放流量が毎秒2m<sup>3</sup>/Sに達していない日数は何日か。また、該当する日のうち、潮発電所に送水を行っていた実績があったのかどうか、明確にされたい。</p>	市 長	

質問者	33 荒木 孝		
質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 「平成の合併」で誕生した出雲市の実態と評価について伺う	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 地方分権の受け皿として基礎自治体の強化、生活圏の広域化への対応が求められ「平成の合併」が進んだ。「地方分権一括法」の制定後、権限・事務の移譲がなされたか。移譲が自治体運営に貢献したか伺う。</li> <li>② 道州制導入について検討されているがこれに対する考えを伺う。</li> <li>③ 出雲市が誕生して8年が経過した。合併協議の中、周辺部から整備をして元気のある新出雲市の建設を誓いあったと記憶する。 「合併特例債」の充当状況を見る時、周辺部の衰退を感じず。特に地域経済に影響が大である。この状況について伺う。</li> <li>④ 島根県でも、又、全国では合併しなかった自治体が多数ある。これに対する所見は。合併を推進する様、国に対して意見を言う考えはないか。</li> </ul>	市長	
2. 出雲市財政計画について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 健全化に向けた決意より何故、危機的な状況となったか。誰れが責任を取るのか。</li> <li>② 組織機構の見直しにより職員の削減につなぐ</li> <li>③ 事業の精査で一般財源のカットを</li> <li>④ 市民の理解と協力を頼み込む</li> </ul>	市長	
3. 地方公務員給与削減に対する見解を伺う。	地方公務員の給与は地方自治体の裁量権であり自主的に決定されているが今回の様に地方交付税の配分額をカットする手法は強制的であり簡単に容認できないと思うが見解を伺う。	市長	
4. 支所の組織・機構の見直しについて伺う	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 支所の組織・機構の見直しが示されたが、財政計画、行革の中だけで議論すべきものではない。</li> <li>② 支所職員は地域が見える観察力を持った職員の育成が必要である。 (窓口サービスの徹底した対応) (災害時の緊急対応)</li> </ul>	市長	
5. 市役所挙げて禁煙啓発について	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 癌の中で死因のトップは肺癌である。喫煙者は肺癌になりやすいと言われている。H25年度から市役所内は禁煙と伺っているが、その内容を伺う。</li> <li>② 市長も愛煙家であるが是非禁煙運動の先頭に立って欲しい。</li> <li>③ 民間企業では喫煙者は採用しない企業もある。</li> </ul>	市長	

質問者	38 寺田昌弘	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
神戸川再生について	<p>① 河川法上、水利権の消滅と河川管理者の監督処分及び原状回復命令 河川法上の水利権の消滅と河川管理者の監督処分（河川法七十五条1項・1項の二、三）及び原状回復命令について説明して下さい。</p> <p>② 渇水により河川の下流において農業用水が不足したときの発電用水と農業用水との河川法上の優先順位 渇水により河川の下流において農業用水が不足したときの発電用水と農業用水との河川法上の優先順位を説明してください。</p> <p>③ 窪田水力発電所の窪田堰において魚道の呑み口をふさいで発電していたのは事実ですか？ 中国電力が、窪田取水堰、八幡原取水堰で発電用の利水をしているために、直下流においては、それぞれ約1kmに渡って水が流れていないのが何十年も続いている状況です。 サケ、アユ、ウナギ、ヤマメ、モクズガニは2つの堰で川の水が分断されて魚が極端に減少しています。 アユは一年間に40万匹放流しても、わずか4,000匹しか漁獲量がなく、食べてもドベ臭いと言われています。 島根県の専門委員会の報告で、窪田水力発電所の窪田堰で長年にわたり魚道の呑み口をつぶして発電用に取水していたと聞いたが、事実かを確認したい。事実ならば期間とその影響の報告を求める。</p> <p>④ 神西湖漁協は、神戸川の関係河川使用者にあたると思いますが、市の見解を伺います。</p> <p>⑤ 来島ダムに関する島根県、出雲市、中国電力との確認書に記載された3ヶ所の流量観測所の設置はどのようになされていますか？また目的は達成されていますか？ 昭和58年12月28日付の来島ダム水利使用に関する確認書の第2項について、「島根県知事は、八神地点、馬木地点及び佐田町仁江地点の3ヶ所に流量を観測する施設を所管する市町（頓原町、出雲市、佐田町）の庁舎に設置し、管理するものとする」とあるが、3ヶ所とも設置してあるのか？また、流量を管理しているのかを質問します。</p> <p>⑥ 公文書公開条例に基づき公開文書請求をしているが、島根県、出雲市、中国電力から未提出であるが、出雲市はどうでしょうか？ ア 神戸川再生推進会議により、平成24年8月と平成25年1月に情報公開条例に基づき、島根県、出雲市、中国電力あてに公開請求された来島ダム及び神戸川に関する流量データ、その他関係資料が、未だに提出されていないのはなぜでしょうか？</p>	市長			

	イ 出雲市から、島根県と中国電力に提出の要請をすべきではないでしょうか？ ⑦ 昭和39年に、治水・利水の体系的制度の整備として、「水系一貫管理制度」が取り入れられたようですが、それはどのようなものですか？ ⑧ 出雲市長は神戸川来島ダム水利使用許可申請に対して、どのように対応されますか？		
--	---	--	--

質問者	12	小村吉一
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
最近の市民の声の中から問う	① 市立総合医療センター入り口の改善策を問う ・応急処理は ・根本的改善策は ② 選挙公報は各世帯に配布されているのか問う ・新聞を購読されていない世帯は何世帯ぐらいと推定しているのか ・その補完対策は ③ 平田本陣記念館の障がい者への入場の配慮と対策を問う ・車椅子利用者への対策は ・点字ブロックなど ④ グループホームに経済的要因で入居できない方が多くある。その対策を問う。 ⑤ 支所の組織・機構の見直しは、市民との最先端をになう支所の役割と整合性が確保されているのか問う。 ⑥ 湯谷川・南橋の存続を求める声が強い。その後の経緯と船川・よこなで橋との整合性を問う。	市長	

質問者	5	井上恵夫
-----	---	------

質問事項	質問内容	答弁を求める者	記事
1. 未来につなぐ農業振興策について	① 農業振興施策の未来農業につながる方向性を問う。 ② 斐川、出雲合併後の新たな特性のある地域農業の振興計画をどのように進められるかお示しください。 ③ 農業者が抱える、担い手不足高齢化による特産品目の持続可能な支援就農対策を問う。	市長	

2. 自然を守る環境のまちづくりについて	<p>① 森林を守るまちづくりについて、荒神谷と仏経山（神名火山）を結ぶ里山遊歩道の設置健康づくり、自然に学ぶ里山の学習道として、小鳥や生き物と共生、森林セラピーとして、自然の大切さを学ぶ学習道として、荒神谷の歴史に通じる、神話の国引伝説の山 神名火山（仏経山）を観光として、活用出来る資産である。</p> <p>② 財政はきびしいが、民間の財力と協力して、ケーブルカーを活用した展望公園として観光ルートに考えられるが意見をお聞かせ下さい。</p>	市長	
----------------------	--	----	--

質問者	31 原 隆 利
-----	----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
財政悪化の原因は誰にあるか？	<p>① 市長か、議会か、市民か。</p> <p>② 責任をどう取るのか。</p> <p>③ 財政改善に対する決意を伺う。</p>	市長	

質問者	14 松村 豪 人
-----	-----------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
出雲市財政計画と新年度の予算編成について	<p>① 平成25年度当初予算編成の基本的な考え方が示された。出雲市財政計画を基本としたうえで、歳出全般に渡る徹底的な経費削減や行財政改革を図る一方、限られた財源で最大限の効果が発揮できるよう配慮したとのことであるが、</p> <p>ア 中小企業にとっては、この3月末で金融円滑化法の終了を迎え、厳しい経営環境となることが予想される。市として、少ない財政出動でどのような対策を講じるのか。</p> <p>イ 財政計画の期間中、市民生活の充実や公的サービスの質を下げないためには、市民活動の活性化が不可欠である。市内コミュニティセンターやまちづくりの取り組みへの支援はどのようなものか。</p>	市長	

質問者	36	珍部全吾		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
長岡市政四年間の総括	<p>① 全国そばまつり 神在月の冠もなくなり、時期、開催まで変更して開催されたが、感想と成果について</p> <p>② 国際交流事業 この事業は、青少年の為の長期的視野に立つものである。近年、事業の縮小、予算の減少傾向がみられるが、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業への基本的な考え方は</li> </ul> <p>③ 口利き禁止令 市長就任時、口利きがあった場合、市長に報告する様職員に通達されたが</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その件数と効果について</li> </ul> <p>④ 都市計画税について 昨年9月10日関係地域議員に対し、25年度には税の廃止を発表されたが、その後方向が逆行した。まさに迷走である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長の所感は</li> </ul> <p>⑤ 3S (SPEED、SIMPLE、SMILE) をはじめ、新市長として様々な公約をされてきた。</p> <p>一方、慶人会をはじめ福祉関連の身近な予算の削減がみられるが市長の所感は</p> <p>⑥ 市民に対し四年間の市長の実績を述べていただきたい。(簡単に)</p>		市長	

質問者	3	伊藤繁満		
質問事項	質問内容		答弁を 求める者	記 事
出雲縁結び空港の欠航原因と利用客の確保について	<p>① 平成23年度以降、欠航が多く発生している。平成24年度もその傾向が続き、昨年11月、本年1月、又、2月4日、7日と続いている。</p> <p>原因の調査と改善策について関係機関と協議し早急に対処すべきである対応策について伺う。</p> <p>② 出雲圏域には多くの企業が立地している。経済、観光振興推進のうえでもマイナスである。今後の企業誘致活動を促進するうえでマイナスイメージにつながらないか懸念している。見解を伺う。</p>		市長	



	<p>③ サーブ機の耐用年数を伺う。又バードストライクの効果的な防止策について伺う。</p> <p>④ 平成9年から平成20年まで利用客数が70万人台、ピーク時には77万8千人が利用されてきたが平成23年にはピーク時に比べ14万人も減少している。</p> <p>出雲未来図には交流人口1000万人を掲げているが人口減少時代に入り観光産業を振興する観点から具体的施策を伺う。</p>		
--	--	--	--

質問者	17	萬代輝正
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 出雲未来図の具体的な政策は	<p>① 今何故、出雲未来図を描いたのか。その思いとは。</p> <p>② 市民活動の支援について、民間からの資金を活用できる基金の創設をしては。</p> <p>③ 定住支援について、市営住宅や雇用促進住宅の今後の考え方は</p> <p>④ 公共交通ネットワークの整備の中で、一畑電車への今後の取り組みは</p> <p>⑤ 空家対策条例（仮称）の具体案とは</p>	市長	
2. 出雲市スポーツ振興ビジョンの具体策を問う	<p>① 体育館の利用状況や利用団体を示した上で、出雲と平田体育館について、答申を踏まえた今後の施設整備の考え方</p> <p>② サッカーグラウンドの利用状況を示した上で、人工芝グラウンド整備へ向けた活用方法の具体策とは。</p> <p>③ プールについての今後の方向性は。</p> <p>④ 県立ではあるが、県立浜山球場の整備についての県の動きは。</p>	市長	

質問者	9	狩野正文
-----	---	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
教育委員会所管の幼稚園、小学校、中学校における教職員による園児、児童、生徒に対する体罰について	<p>① 教育委員会所管の幼稚園、小学校、中学校における教職員による園児、児童、生徒に対する体罰について</p> <p>ア 園児、児童、生徒に対する教職員の体罰の実態について現状を伺う。</p> <p>イ 体罰に係る指導を現場関係者に行っているのか伺う。</p> <p>ウ 教育における体罰に対してどのように考えているのか伺う。</p>	教育長	

質問者	24	直良昌幸
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. さらなる行財政改革の 推進策について	① 公共施設とインフラ施設のデータを一元化すべきと考えますがご所見を伺う。 ② 現行の指定管理者制度の再点検をすべきと考えますがご所見を伺う。	市長	
2. きめこまやかな教育行政の 推進を	① 就学困難児童の支援について 過去5ヶ年間の要支援児童数と支援費の推移について伺う。 ② 委員会発行の刊行物について伺う。	教育委員長	
3. “瑞々しいまちづくり” みどりの環境整備の充 実を	① 公共施設の植栽の保守管理の一元化はできないか伺う。 ② かつて開催されていた“花と緑のフェスティバル”の事業を復活できないか伺う。	市長	

質問者	18	板倉一郎
-----	----	------

質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
1. 産業振興について	① 出雲市財政計画により、公共事業を抑制する考えが示される中、ますます民間による産業振興が必要になる。市として、どのように考えているのか伺う。 ② 3月末には、高速道路が、広島県三次市から三刀屋木次ICまで開通する。このことを、どのように産業振興に活用する考えか伺う。	市長	
2. 公営墓地の取り組みに ついて	① 公営墓地の現状と今後の計画を伺う。 ② 大規模な墓地ではなく、身近な場所での設置を望む声がある。各地域でのニーズを調査し、道路整備などで発生した市の未利用土地などを活用してはと考える。市の考えを伺う。	市長	
3. 中国大気汚染物質の注 意報について	① 中国から飛来する大気汚染物質について ア 現状、どのように把握しているのか伺う。 イ 状況により、ケーブルテレビ、防災行政無線、ラジオなどを活用し、市民に対し注意を促す考えはないか伺う。	市長	

質問者	10 木佐 宏	質問事項	質問内容	答弁を 求める者	記 事
長岡市政4年の歩み「市民の眼」で総括 断崖絶壁脱出の道を質す	<p>① 人口10万人以上都市において、財政事情はワーストワン、北海道の夕張市と同等の危機的現実を財政部長が公言したが、長岡施政には、危機感が全く無い。 市営直江東住宅建替事業6所帯、1億1千万円の当初予算計上が如実に物語っている。向う4年間に老朽化建替を迫られる市営住宅の実態を伺う。</p> <p>② 旧平田地域で不可解な下水道整備事業連発、一方では必然的、喫緊課題を関係機関を訪問引き伸ばし戦術、全市民に対し中立・公平・公正が損なわれ続ける長岡施政、先般都市計画税廃止を撤回されたが、関係地区納税者が果たして納得されますか。</p> <p>③ 喫緊課題である島根原発、避難道路計画が全く示されていない、一方では財政難の下では計画に挙げなくて良い高額道路改良事業が連続発注された、情報公開し解析したら「平成の世直し人」指摘通り、緊急性無し、特定業者受注、工事手法膨大なかさ上げ、中には歴然とした談合落札を否定できない事案も、県内一番の利益誘導、汚れ切った出雲市政がこの4年間で更に増強、巧妙へと悪政の進化は止まる所を失っている。</p>	市長			